慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	谷口弥五郎著 アダム・スミスの経済思想
Sub Title	
Author	高橋, 誠一郎
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1923
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.17, No.4 (1923. 4) ,p.671(175)- 672(176)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	新刊紹介
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19230401-0175

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

る資本家企業家を驅逐してしまつたではないか。まだこんな例は澤山ある。產業經營の强制化を要するものは、殆んど今日既に都市の手に置かれてゐる。最早や、任意的性質を以て其特色とする消費者組合をも强制的化する必要はないではないか。私は組合が任意的性質を其特色としながらも、充分今日の資本家產業制度に取つて代ることが出來ると思ふ。しかし、繰返して云ふが、之れは今日の大規模生產の改造であることを誤解してはならない。組合は規模が大きいのと、範圍が廣いのとで、個人的企業を全部排斥するわけには行かないものである。比較的古い事業、又比較的大きな事業に於てのみ、組合事業は適當である。新しい事業や、小規模の事業に於ては、市場に限りがあるから、其製品は何處へ持つて行つても賣れると云ふものではない。之れは今後も私營事業に屬すべきである。是れ、此論文の(乙)の第二の(三)に於て、手工業農業等を組合經營に不適當なものとして擧げた所以である。家具や花瓶に、思ひ付な意匠を施す人があるとせよ。そして、彼は自分で小さい店を出す能力もあり、又獨創的な作品を拵へて、組合店舖に出してある平凡な作品に刺戟を與へることが出來るとせよ。吾人は斯かる人をも貶げる必要はない。そして、若し、此新意匠が必要ならば、組合の方で買取つても好い。農業について云ふならば、良い雞の種をこしらへやうとする養雞家や、林檎や葡に特種な風味を添へる園藝家等は、假令、組合が全國民に普及する場合でも、依然として存在し、組合企業によつて冒されることはない。是は、今日資本家制度の下にも、顧客の特種注文を受けて、其嗜好に應じて仕事をするレースの編物職人、刺繍職人、京染職人、足袋職人、刀鍛冶が存在すると同樣である。しかし、農業の方面でも、勞力節約機が大規模の農業に應用せられ得る範圍に進じて、（例へば穀類、馬鈴薯、綿花等の場合）消費者の組合式農業は發達して行けるものと期待して好い。刈禾機、收禾機、及牽引車などは、當然組合の用具となるべきものである。又、吾人は澤山な羊や、牛馬や、豚等を飼養する消費組合所屬の牧畜業も起ると期待してよい。又、木材生產の如き歲月を要するものも、一度自然林を伐り盡したあとで、自ら公的企業に屬するものと見て好からう。地方的消費組合は、又、賣野菜の培養を附近の土地で手廣く行ふこととなるであらう。今日既に英蘭蘇格蘭兩卸賣組合が、加奈陀に小麥栽培地を有し、印度に茶の栽培地を有するが如き此一例である。（完）

新刊紹介

谷口彌五郎著

アダム・スミスの經濟思想

四六版二八四頁
定價金一圓八十錢
東京同文館發兌

本一千九百二十三年六月五日は經濟學祖アダム・スミスが蘇格蘭の小邑カーコウデイに生れてから恰度二百年に相當する。今を去る約五十年以前、即ち一千八百七十六年はスミスの大著「國富論」が上梓せられてから恰も一百年を經過せる年であつた。此の年にはFortnightly Review誌上に於けるバジョットの Adam Smith as a person や、Preuss. Jahrbücher 誌上に載せたるナツセの Das 100 jährige Jubiläum der Schrift von Adam Smith über den Reichtum der Nationen. や、イナマ・ステルネツグの Adam Smith und die Bedeutung seines Wealth of Nations für die moderne Nationalökonmie. なぢ

が發表せられ、其の翌七十七年にはオンケンの Adam Smith und Immanuel Kant. が出版せられてゐる。彼れの生誕二百年に相當する本年は更らに是れ等のものよりも一層貴重なるスミス研究の大論篇を得て之れを紀念したいと思ふ。爰に紹介する谷口氏の著は實に斯くの如き企圖の陳呉として見る可きものである。著者は曾つて慶應義塾理財科に聽講生たりし厚學の士であつて、本書は實に其の處女作である。本書の出版に就いては上田貞次郎博士及び小泉信三教授の多大なる援助が親はれる。

著者は先づ經濟學史上に於ける國富論の地位に筆を起し、スミスの生涯を傳へ、國富論の出現と其の影響とを稍や詳細に叙し、彼れの人性觀と科學體系及び其の研究方法等より始めて國富論全卷に亘る思想を摘約し、現代的見地より之れを研討してゐる。著者の參考せる諸書中に在つて最も顯著なる地位を有するものはフランシス・ダブルユー・ハーストの Adam Smith であるやうに思はれる。著者の筆は嘆稱に値する平易と明快とを以て流暢に演ばれてゐる。本卷を通じて些の澁滯もない。吾人は此の書に於て、多くの處女作が持つ羞恥に富んだ初々しさを見ること能はずして、老成の人にのみ期待し得る平靜の態度が偲ばれる。其處には自家の研究を掲げて學界の先輩に問はんとする青年學者の意氣よりも、寧ろ諄々として後學を敎へんとする老敎師の風貌がある。著者はスミスと其の事業とを一般人士に知らしめんとする其の企圖に於て多大なる成功を贏ち得たるものと稱し得やう。洵に上田博士の言の如く、此の書がスミスの事業の全般を論じ盡し、而も論じて些の誤なしとすることは出來ないけれども、大體に於て彼れの生涯と彼れの時代を説明し、彼れの經濟學史上の地位を傳ふるに足るものであることは疑なからうと思ふ」。吾人は今やアダム・スミスの生誕二百年を迎へんとするに當り、一方には竹内謙二氏の「國富論」全譯將さに完成に近づかんとしつゝあると同時に、更らに此のスミス研究の好個の入門書を得たることを深く我が學界の爲めに喜ぶものである。（高橋誠一郎）

前號（第十七卷第三號）目次（大正十二年三月號）

論說
組織概念としての商業　向井鹿松
社會主義と國家（二）　小泉信三
近世資本主義と殖民經濟（三）　阿部秀助
エッセネ敎團の共產主義　高橋誠一郎
雜錄
チュードル、スチュアート兩朝に於ける工業政策（一）　高木壽一
カロリン・フォックス女史とジョン・スチュアート・ミル（一）　榎本鏘治
「人口論」の哲學思想　津田誠一
社會思想家としてのジョン・ラスキンの生涯（三）　奥井復太郎
フイリップスの貨出金の公式　鈴木良雄
消費組合の限界（上）　濱田精一
新刊紹介
高田保馬著「社會學概論」　加田哲二
杉程次郎氏著「最近貨幣論」を評す　荻原吉太郎
雜報
理財學會々報

●一冊定價金五拾錢（郵稅金貳錢）
●半ケ年分金貳圓九拾錢（郵稅共）
●一ケ年分金五圓四拾錢

●編輯及び事務に關する一切の用件は發行所宛
●營業に關する用件は發賣元宛
●原稿締切期日は發行の前月十日限

大正十二年三月卅二日印刷納本
大正十二年四月一日發行
毎月一回一日發行

第十七卷第四號
編輯兼發行者　三田學會雜誌
東京市芝區三田二丁目二番地慶應義塾內　江田範保
印刷者　東京市赤坂區新町五丁目四十二番地　金子鐵五郎
印刷所　東京市赤坂區新町五丁目四十二番地　金子活版所

禁轉載

東京市芝區三田貳丁目壹番地
發賣元　國文堂書店
振替東京四六九四九番

●尚は本誌は全國各市雜誌店にて販賣す

發行所　東京芝三田慶應義塾內　理財學會